

新たな副町長、教育長をご紹介します

4月1日から新たに副町長に平川一喜氏、
教育長に戸越政幸氏が就任しました。

平川
ひらかわ
一喜
かずき
副町長



昭和32年2月5日生まれ。昭和55年に熊本市役所へ入庁。在職中には熊本城内にある城彩苑の建設に携わるなど、37年にわたり幅広い分野を経験。平成19年に観光政策課課長、22年北保健福祉センター所長、24年北区役所次長兼北区福祉事務所長、27年人事委員会事務局長を歴任。趣味は山歩き、温泉巡り、合気道。61歳。大明神区。

37年間熊本市に通勤しましたが、住み慣れた町で仕事ができることを大変うれしく思っているとともに、副町長という職責の重さを感じているところです。

長洲町はJ・Rを利用しての熊本市内や福岡へのアクセス、有明海沿岸道路の一部開通による福岡・佐賀方面へのアクセス、さらには有明フェリーで長崎と結ばれており、交通の利便性が高い町です。また、熊本市などの都市と比べると、地域コミュニティの交流が活発です。県内では、2番目に小さな面積の町でもあり、コンパクトで、下水道などの住環境も整った、大変

住みやすい町だと思っております。

現在、町では宮野地区地域優良賃貸住宅の整備をはじめとした定住化の推進、福祉の充実、産業の振興、教育・子育ての充実など、さまざまな事業に取り組んでおります。熊本市役所で培った経済・福祉分野などでの経験を活かして、中逸町長の補佐役として、多くのことにチャレンジし、皆さんが「住みたい・住んでよかった」と思えるオンラインワンの町を目指してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

このたび、教育長に就任し、職責の重みを感じるとともに、身の引き締まる思いです。初心を忘れず、微力ながら町の教育の充実、発展のために全身全霊を注ぎたいと気持ちを新たにしております。

長洲町は、豊かな自然に恵まれ、地域住民のつながりが深く、温かい町です。私自身、学校教育をはじめ、地域の大人たちから温かく見守られ、育てていただきました。「教育は人なり」。自分らしさを忘れず、日々修養と研鑽に励むとともに、これまで学校現場で培ってきた知識・経験を町の教育・まちづくり

に活かしていきたいと思っております。

おります。

子どもからお年寄りまで、心の豊かさや生きがいを求めて学び合える生涯学習機会の提供と、この町に住みたい、学ばせたい(子育てしたい)と、皆さんがふるさとを誇りに思えるように全力で取り組んでまいります。

また、教育委員会は学校や関係機関を支える縁の下の力持ちでもあります。現場第一主義に立ち、それぞれが、思う存分役割を発揮できるような環境づくりを目指してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

戸越
とごえ

政幸
まさゆき
教育長



昭和25年4月12日生まれ。昭和53年に多良木町立槻木中学校に教諭として赴任後、33年にわたり、生徒の育成に尽力。町では、昭和59年に腹栄中学校、平成21年に再び腹栄中学校に赴任し校長を歴任。趣味は魚釣り。68歳。大明神区。